

令和2年度事業報告

長野県内の治安情勢は、刑法犯認知件数を見ますと、平成14年以降減少を続け、数的治安は改善されてきております。その一方で特殊詐欺の被害は依然として後を絶たず、体感治安は良くなったとは言えない状況にありました。

そのような情勢の下、公益社団法人長野県防犯協会連合会では、令和2年度の事業活動の目標を

「地域のきずなで安全・安心なまちづくり」

と定め、推進重点を

① 安全・安心な地域の実現に向けた「絆」や「連帯感」、「規範意識」の醸成
② 子ども、女性、高齢者等社会的弱者に係る犯罪被害の防止
③ 地域防犯協会、自主ボランティア、警察・自治体等の関係機関・団体との協働とし、真に犯罪の起きにくい社会の実現を目指して、各種の防犯事業に取り組んでまいりました。その結果、県内における昨年中の刑法犯認知件数は、6,944件 対前年比-1,560件、-18.3%となり、平成14年以降19年連続で減少する結果となり、数値治安は確実に回復基調にあると言えます。これも防犯ボランティアの皆様方が、警察当局、市町村等関係機関・団体と連携し、献身的な防犯の諸活動に取り組んでいただいた成果が顕著に表れております。

しかしながら、昨年の特種詐欺の被害状況は、認知件数125件、被害金額2億9600万円余に上り、依然として治まる気配はなく、県民不安は払拭されていない状況下にあります。

さらには、地域の「絆」や「連帯感」、「規範意識」など、社会の安全・安心に寄与してきた様々なシステムは、少子高齢化の進展、核家族化、地域との関わりの希薄化といった各種の情勢変化に加えて、昨年来の新型コロナウイルス感染の影響に伴う社会的不安の増大により、従来同様に維持、機能させることは困難になっており、今後の課題は多い状況です。

そのような中で、公益社団法人長野県防犯協会連合会といたしましては、令和2年度は制限された厳しい情勢の下、新型コロナウイルス感染予防対策に万全を期し、可能な限りの各種防犯活動を積極的に推進してまいりました。

昨年度に実施した、具体的な事業推進状況は以下のとおりであります。

第1 地域安全活動事業

1 防犯意識の普及高揚

- (1) 広報啓発活動 ～県民の犯罪に対する防犯意識の高揚と自主防犯行動の促進
「季別の地域安全運動」、「全国地域安全運動」、「年末の特別警戒」や各地域

のボランティアによる街頭啓発活動時において、立て看板・ポスターの掲出やチラシを配付するなど、振り込め詐欺等特殊詐欺の被害防止、子ども・女性被害に係る犯罪、自転車盗などの街頭犯罪、その他身近で発生する各種犯罪の被害防止の意識付けと防犯意識の高揚を図った。

春の地域安全運動（3月～4月）	・立て看板の作製配付	1,582枚
夏の地域安全運動（7月～8月）	・立て看板の作製配付	1,621枚
全国地域安全運動（10月）	・啓発ポスター	1,150枚
	・啓発チラシ	9,000枚
	・立て看板の作製・配付	3,552枚
年末特別警戒（12月）	・特別警戒ポスター	6,190枚
	・特別警戒チラシ	17,500枚
	・立て看板の作製・配付	3,701枚

年金支給日等における「特殊詐欺被害防止啓発物品」の作製・配布	・5月 ポケットティッシュ	10,000個
	・7月 ウェットティッシュ	5,000個
	・7月 救急絆創膏	5,000個
	・11月 ファンシーマスク	10,800枚
	・3月 マスクケース	7,000個

○ 主要新聞の広告掲載による広報・啓発活動の実施

- ・産経新聞 11/17 「県民の警察官表彰」に併せて掲載
- ・信濃毎日新聞 12/1 年末特別警戒に併せて掲載
- ・日本経済新聞 3/25 新入学児童の事故防止対策として掲載

○ 防犯機関紙「防犯信州」を活用した広報・啓発活動

月3回、年間32回発行 各種広報啓発に係る記事を掲載した。

発行部数 176,000部（5,500部/1回）

(2) 機関紙「防犯信州」・ホームページの活用による地域安全ニュースの提供

- 警察からの情報提供による事件情報や注意すべき防犯対策、各地域の防犯ボランティアの活動などを「防犯信州」に掲載して、県民の防犯意識の高揚に努めた。
- 防犯協会及びリンクしている警察ホームページによるタイムリーな情報提供

(3) 防犯ポスターコンクールの実施と防犯カレンダーの作成

- 長野県内の小学生（4年生以上）と中学生を対象とした防犯ポスターコンクールを実施し、学校、家庭における防犯意識の高揚を図った。

応募総数：265校 5,436点

- 各警察署等の予備審査を経た136点を対象に県審査会を実施
 県審査会月日 10月8日(木)
 審査員 外部有識者、公安委員、警察本部長等幹部、協会役員他
 審査結果 知事賞3点、特賞3点、金賞20点、銀賞36点、銅賞51点
 - 知事賞3点を含めた銀賞以上62点を、県下5カ所の展示会場(県庁、伊那市、岡谷市、松本市、上田市、長野市)に約1週間展示して、広く県民の防犯思想の普及に努めた。
 - 知事賞3点を掲載した、地域安全広報用カレンダー2,900枚を作製し、市町村、金融機関、コンビニ等に配布・掲出したほか、広報啓発物品ファンシーマスクに掲載し10,800枚を作製配布して防犯思想の普及啓発に努めた。
- (4) 防犯啓発用ビデオの購入・貸出し
- 視聴覚を活用した県民の犯罪に対する防犯意識の普及・啓蒙に必要な教材としてDVDを2本購入し、貸し出しを行い、防犯意識の高揚に努めた。
 - ① 『情報モラルを身につけよう小学生のスマホの安全な使い方教室』
 ～第1巻自分も相手も傷つけないために～
 - ② 『あなたの老後の資金が奪われる!』
 ～従来型オレオレ詐欺・キャッシュカード交付型詐欺・架空請求詐欺
 - 保管中のDVDを地域防犯協会に貸し出し
 - ・ 保管DVD総数 178本 タイトル数114
 - ・ 貸し出し回数(講習会等開催数) 44回
 - ・ 貸し出し本数 55本
 - ・ 視聴延べ人数 7,766人
- (5) 各地域における自主防犯活動への支援
- ボランティア支援用品の配付
 防犯活動支援用品(ベスト) 100着 青パト広報用CD 60枚
 - 日本リトルリーグ信越大会(長野県・新潟県警本部長杯)に対する支援による少年健全育成事業
 - ワイヤレス音響システムの整備購入
 防犯女性部の寸劇等の活動を支援するため、マイク、アンプ等音響システムを整備し、貸し出しを行う。
- (5) 地域の絆や防犯機能を高めるための「あいさつ運動」、「防犯当番制度」の普及
- 学童の登下校時間帯を中心に、挨拶、声かけ運動を働き掛けたほか、地域持ち回りによる「防犯当番札」の玄関掲出を働きかけた。
 - 長野県将来世代応援県民会議の青少年育成推進事業の一環として取り組む「信州あいさつ運動」(毎月11日「信州あいさつの日」)にも、積極的に参

画・広報し、子供たちを元気づけ、地域ぐるみで、子どもたちのすこやかな成長を応援するための県民意識の高揚を図った。

2 防犯団体相互の連絡調整

(1) 防犯協会傘下団体との連絡調整、関係協会等との連携

傘下団体である防犯指導員、ホワイトエンジェルス隊、防犯女性部、金融防犯部会の連絡調整を図り、関係団体である少年警察ボランティア協会、コンビニエンスストア防犯協会等との連携、支援、協働活動を推進した。

(2) 自主防犯ボランティア、若い世代のボランティア交流会・研修会の開催

○長野県防犯セミナー、防犯ボランティア地域交流会の開催

県下各地で活動している組織傘下のボランティア、自主的に地域で子どもの見守り活動等をしている自主ボランティア、若い世代のボランティア、市町村担当者などを一同に集め、意見交換や講師を招いての基調講演などの研修会を行い、ボランティアの育成、拡充を図った

- ・開催日 令和2年10月6日（火）
- ・開催場所 佐久平交流センター
- ・参加者数 約160人
- ・基調講演 演題「あなたもきっとだまされる！

～思い込みを科学する心理学～

信州大学地域防災減災センター長 菊池聡教授

(3) 金融機関防犯責任者による防犯対策会議の開催

金融機関対象の強盗事件等を未然に防止し、インターネットバンキング利用の不正送金等サイバー犯罪に対処するため防犯協会金融防犯部会「防犯対策会議」を開催した。

- ・開催日 令和2年11月11日（水）
- ・開催場所 ホテル信濃路
- ・出席者 各金融機関の防犯担当責任者等31名
- ・基調講演 演題「サイバー犯罪の最新事例と対処要領」

講師 長野県警察本部サイバー犯罪捜査課中嶋利文氏

3 防犯協会傘下団体等に対する指導・支援

(1) 防犯指導委員長、ホワイトエンジェルス隊隊長合同会議

県下の防犯指導委員長、ホワイトエンジェルス隊長を招致し、さらに7月に大雨特別警報発令により中止となった女性部地域フォーラムに参加予定だった女性部役員も参加して防犯研修、活動事例発表を行い、さらなる防犯活動の活性化を図った。

- ・開催日 令和2年9月2日(水)
- ・開催場所 ホテル信濃路
- ・出席者 23名
- ・基調講演 演題「県内の治安情勢、特殊詐欺の発生状況と対策」

講師 警察本部生活安全企画課特殊詐欺抑止対策室長 新井美雪氏

(2) 地域安全・安心ステーション地区推進事業への支援

県下13カ所の「地域・安心ステーション地区」の活動について、装備品（45組）などの支援を行った。

(3) 防犯ボランティア保険の加入

防犯指導員、防犯女性部、ホワイトエンジェルス隊員、現役世代のボランティアを対象に防犯ボランティア保険に加入した。

○ 加入者数 2,000人

内訳〔防犯指導員等〕1,500人〔現役世代〕500人

(4) 長野県社会福祉協議会への支援

長野県社会福祉協議会の事業に賛同し、その支援を行った。

4 重点的犯罪予防活動の推進

(1) 特殊詐欺被害防止活動

県下の特殊詐欺被害は、件数、被害金額とも減少傾向にあるものの、依然として被害金額は多額に及び、新たな手口の詐欺生事件も発生していることから、被害防止に向けた防犯活動を最重点として実施した。

○広報啓発

- ・広報啓発グッズの作製、配布
- ・ATM設置場所、高齢者が集まる病院、商業施設における広報啓発
- ・あらゆる広報媒体を活用した広報啓発活動

○研修会・交流会における発生状況、抑止対策の研鑽

- ・総会、研修会、地域交流会等において警察本部生活安全企画課から、特殊詐欺の現状と防止対策についての教養を受けた。

○電話対策の啓蒙

- ・長野県電機商業組合と連携し、各種会議において優良防犯電話の効果的利用についての啓発を行い、抑止対策を推進した。

○防犯女性部による「寸劇」の披露、高齢者宅への家庭訪問等によるきめ細やかな防犯指導の実施

○金融防犯部会、コンビニエンスストア防犯協会を通じて各種水際対策への協力依頼を行った。

- ・昨年中の特殊詐欺被害抑止件数

全体	287件	内訳	金融機関	30	コンビニエンスストア	140件
			家族	77件	その他	40件

(2) 自転車・自動車盗難、車上ねらい、空き巣等身近な犯罪の防止活動

- 自転車登録の全車実施、ツーロックの普及の徹底

- ・今年度「自転車登録カード」販売枚数

70,294枚（令和3年3月末日現在）

- 地域の各学校と連携した自転車盗難防止活動の推進

- 防犯女性部、ホワイトエンジェルス隊、少年警察ボランティア等による駅前駐輪場における防犯診断・啓発活動の実施

- ・昨年中の自転車盗認知件数 823件（平成23年以降10年連続減少）

(3) 子どもを守るための犯罪防止活動

- 「イカのおすし」の下敷きの作製、配布

・子どもを犯罪から守るため、子どもが知っておくべき防犯知識や「子どもを守る安心の家」の利用方法を表示した「イカのおすし」の下敷きを作製配布し、児童の防犯意識の醸成と地域における子どもの安全意識の高揚を図った。

- ・配布対象児童 令和3年度小学校新入生児童

- ・配布枚数 17,000枚

- ・配布対象小学校数 385校

- ・子どもを守る安心の家 13,851軒（令和2年7月1日時点）

- 通学路における見守り活動を行う団体の奨励と表彰の実施

(4) 女性を犯罪から守る犯罪防止活動

- 警察との連携により、女性に対する「声かけ事案」等予兆事案が発生した際に、ライポくん安心メール、防犯機関紙等でタイムリーに情報提供を行った。

- 護身術講習会、防犯女性部による防犯指導を実施した

- 防犯ブザー等各種防犯機器の斡旋

- 性犯罪被害者等犯罪被害者支援連絡協議会への参画と協力を行った。

(5) 外国人居住者に対する防犯指導、犯罪防止対策の推進

- 「長野県外国人労働者問題対策連絡会議」に参画し、関係機関に対し協力体制を構築し、外国人居住者の防犯・安全対策を推進した。

5 青少年の健全育成と非行防止活動～非行少年を生まない社会づくりの推進～

(1) 少年非行の実態や少年を取り巻く犯罪情勢を、機関紙などを通じ、広く広報した。

(2) 少年警察ボランティア、育成会、PTA、自主防犯ボランティア等と協働し、少年に対する声かけ、街頭補導等の非行防止活動の実施

- (3) 長野県将来世代応援県民会議への参画と支援を行った。
- (4) 警察、学校等と連携による防犯教室等を開催した。
- (5) 日本リトルリーグ信越大会（長野・新潟警察本部長杯）に対する助成を行った。

6 暴力追放運動～暴力団組織の根絶と排除

- (1) 警察、暴力追放県民センターとの連携による暴排運動を推進した。
- (2) 暴力追放県民大会への支援を行った。（大会はコロナウィルス対策のため中止）
- (3) 機関紙を利用した効果的な暴排活動事例の県民への周知徹底を図った。

（防犯信州11月25日号他）

7 覚せい剤、違法ドラッグ等の薬物乱用防止と有害薬物排除活動

- (1) 薬物乱用防止についての広報啓発活動の実施
○防犯信州6月15日号に特集記事を掲載した。
- (2) 薬物乱用防止ポスターの掲出による規範意識の醸成と環境づくりを行った。
○防犯ポスターの題材に薬物乱用防止関連で多数の作品の応募があり、入選作品については各地で掲出した。
- (3) 薬物乱用防止ビデオの貸し出しによる啓発活動の推進
○ビデオ貸し出し回数 7回 ○視聴者数 510人

8 防犯相談活動

- (1) 地域住民からの意見・要望、相談を受理し、防犯活動に資するとともに必要により関係行政機関に要望、提言を伝えた。
- (2) 防犯教室、講習会等の機会を活用した相談活動を行った。
- (3) 風俗環境浄化活動を通じて意見・要望の把握に努め、対策を講じるとともに関係機関に情報提供を行った。

9 防犯対策の調査研究

- (1) 地域安全・安心ステーションモデル地区の検討
地域住民が、自主防犯活動に取り組む際の活動拠点となる、地域安全・安心ステーションモデル地区の活動と今後の方向性について検討を行った。
 - ・ 地域安全・安心ステーションモデル地区 13地区
- (2) 各種刊行物等の購読及び他県の好事例の調査
 - 全防連発行の「安心な街に」等の定期刊行物の購読
 - 他県における先進事例の調査研修

第2 風俗環境浄化事業

長野県公安委員会から、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（以下「風適法」という。）第39条に基づく「長野県風俗環境浄化協会」の指定を受けた事業

1 風俗営業管理者講習及び関連する各種調査業務の推進

(1) 風適法、同施行条例の周知と適正な業者指導の実施

(2) 風俗営業所の管理者を対象とした法定講習の実施

○講習回数 35回 ○受講者数 355人

(3) 同法に基づく営業所の許可申請、構造設備の変更申請等に関する現地調査の迅速確実な実施

調査回数（対象営業所数） 83回（83箇所）

2 環境浄化活動の積極的推進

(1) 各地域の自治会、防犯ボランティア、警察等との連携による客引き等の防止のための繁華街における風俗環境浄化活動の積極的推進に努めた。

(2) 風俗営業の適正な営業、健全化のため、管理者ハンドブック、管理業務簿、リーフレットを作成配布した。

○管理者ハンドブック 390部 ○管理業務簿 400部 ○リーフレット 700枚

第3 防犯機関紙「防犯信州」発行事業

～県民の防犯思想の普及啓蒙に資する身近な新聞としての役割の完遂～

昭和27年の発刊以来、防犯新聞として県民に親しまれている「防犯信州」の役割を再認識し、購読者の求める充実した紙面作りに努めるとともに、犯罪防止に役立つ情報をタイムリーに提供した。

○発行回数 月3回 年間32回発行

○発行部数 年間 176,000部

令和3年3月25日第2352号をもって、真に必要な防犯情報発信の効果的媒体として、長年にわたり県民に愛読されて、広く県民の防犯意識の向上に貢献した防犯機関紙として、その役目を終え、発行終了を迎えるに至った。

第4 自転車防犯登録事業、防犯器具普及事業

1 自転車防犯登録の全台実施

(1) 「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律第12条」に基づき、自転車防犯登録推進協議会・自転車防犯登録店と緊密な連絡を図り、100%登録に努めた。

○平成31年度登録台数 68,399台

○令和2年度登録台数 67,978台

(2) 適正な防犯登録業務の推進

機関紙、ホームページ等により、自転車防犯登録の広報啓発に努めるとともに、利便性の正確な登録・抹消手続きを確保した。

2 優良防犯器具の普及斡旋

(1) 犯罪の未然防止、被害防止のための優良防犯器具、防犯ボランティア活動に必要な器具、備品の普及斡旋を行った。

○主な斡旋物品 ・立て看板 10,923枚

(2) 優良防犯器具等の普及斡旋

優良防犯ブザー、優良防犯電話についてホームページで紹介し、長野県電機商業組合、関連商品取扱業者等と連携し、普及促進に努めるとともに斡旋、提供した。

第5 防犯功労者（団体）表彰

1 防犯功労者表彰～長年にわたり防犯活動に功労のあった個人団体に対しての表彰

(1) (公社)長野県防犯協会連合会表彰（令和2年度各地区防犯協会では表彰伝達）

- ・ 防犯功労者 29名
- ・ 防犯功労団体 6団体
- ・ 特別功労者 2名

(2) 関東防犯協会連絡協議会表彰（令和2年10月6日表彰伝達）

- ・ 防犯功労者 6名
- ・ 防犯功労団体 2団体
- ・ 特別功労者 1名 特別功労団体 1団体
- ・ 特別功労団体 2団体

(3) 全国防犯協会連合会表彰（令和2年10月6日表彰伝達）

- ・ 金賞 1名
- ・ 銀賞 2名
- ・ 銅賞 6名
- ・ 防犯功労団体 1団体 ・ 特別功労団体 1団体

(4) 県民の警察官表彰への協賛

NBSホールで行われた「第64回県民の警察官」に推薦された2名の警察官表彰に協賛し、審査に従事するとともに警察官の士気高揚と地域安全に努めた。

・開催日・場所 11月17日（火）「NBSホール」

第6 組織運営（県防連の目的を達成するために必要な会議等）

1 総会、理事会

(1) 県防犯協会連合会の理事会、総会等の開催

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
監事監査	5月12日(火)	ホテル信濃路
第1回理事会	5月26日(火)	ホテル信濃路
定時総会・第2回理事会	6月10日(水)	ホテル信濃路
第3回理事会	3月25日(木)	ホテル信濃路

2 業務執行状況の報告

(1) 代表理事への報告

専務理事が、毎月の活動状況、業務の推進状況等の報告をメール等によって行うとともに、必要に応じて直接訪問して報告し、指示を受けた。

(2) 監事への報告

必要の都度、監事2名を訪問し、業務の推進状況を報告するとともに、懸案事項についての意見を伺った。

(3) 理事への報告

各理事には、直接訪問し、又は文書により業務の推進状況について報告するとともに課題等についての意見を伺った。

3 全国防犯協会連合会、関東防犯協会連絡会議

(1) 全国防犯協会連合会主催の会議等（オンライン専務理事出席）

風俗環境浄化事業運営管理者全国会議	10月27日(火)	オンラインWeb会議
都道府県防犯協会専務理事会議	10月27日(火)	オンラインWeb会議

(2) 全国地域安全中央大会（当県は事務局・受賞者欠席）

全国地域安全運動中央大会 (防犯功労者等表彰式)	9月24日(木)	東京都新宿区 明治記念館
-----------------------------	----------	-----------------

4 県、警察本部、関係機関、団体の総会、会議等への出席

開催日	会議名（開催場所）	出席者
4月9日(木)	県補助金監査（県警本部）	専務理事・事務局長
4月28日(火)	長野県薬物乱用対策推進協議会総会（書面会議）	専務理事
5月13日(水)	社会を明るくする運動長野県推進委員会（書面会議）	専務理事
5月28日(木)	長野県将来世代応援県民会議理事会（書面会議）	専務理事
11月5日(木)	長野県コンビニエンスストア防犯協会年末防犯対策会議（県庁）	専務理事

以上